

APNIC Update

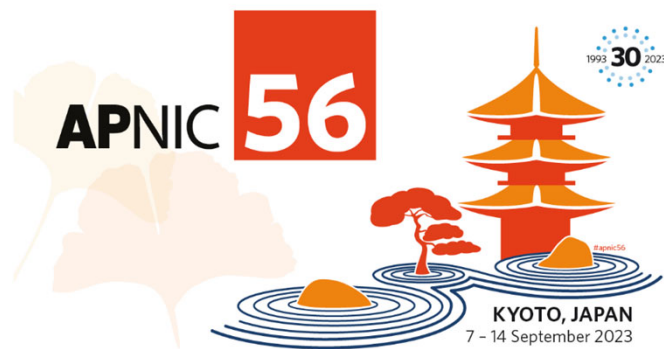
第45回JPNICオープンポリシーミーティング(2023/11/29)



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2023 Japan Network Information Center

▶▶▶ APNIC56(2023年09月07日~14日)



京都市・国際会館にて開催
日本での開催は2015年福岡市にて開催された
APRICOT2015/APNIC 39以来

参加方法：オンサイト/Zoom/YouTube Live

参加者数：47カ国(経済圏等含む)

現地参加者数:504名 オンラインのみ111名

コロナ禍後、初めてのオンサイト開催となった
APNIC54(シンガポール)と同水準の入りとなった。

▶▶▶ 現地の様子



APNIC 56 Flickrより引用

<https://www.flickr.com/photos/apnic/albums/72177720311127255/with/53182307544>

▶▶▶ プログラムについて

- Workshop
 - Internet 101 , SDN, RPKI etc...
- SIG(Special Interest Group)
 - Cooperation , Policy, NIR, Routing Security
- Technical
- 共催イベント
 - APIX Meeting
 - Dot Asia AGM
 - APstar
- その他
 - APNIC 30th Anniversary Panel

▶▶▶ 投票について

NRO NC選挙はDi Ma氏(中国)が再選

- 現職Di Ma氏と新人Abhishek Mishra氏(NIXI/インド)の2名が立候補、接戦で現職が当選。

その他SIG Chair選挙の結果は以下の通り

Policy SIG Co-Chair : Shaila Sharmin氏(現職)

Cooperation SIG Chair : Joy Chan氏(現職)

NIR SIG Chair : Oanh Nguyen氏(現職)

選挙中にはビラ配りも？

▶▶▶ 投票について②

定款改定に関する投票が実施

- 定款改定について、5つの変更点が提示され賛否を問う投票が実施された。
 - 結果、全項目2,000票以上の賛成を集めて賛成可決。

詳細についてはこの後の「RIRは堅牢なのか：対応は進んでいます」にてお話しします。

▶▶▶ Policy SIG: コンセンサス確認の方法

コンセンサスは挙手で確認

オンラインではConfer (<https://confer.apnic.net>)による意見表明が可能

Proposals:

Test Proposal

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv4
only)

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv6
only)

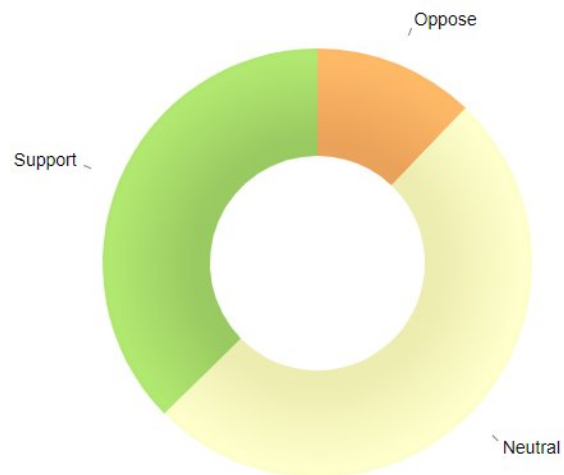
prop-130:
Modification of
transfer policies (ASN
only)

prop-133: Clarification
on Sub-Assignments

This proposal is not currently under discussion. There is no current proposal under discussion.

This is the online consensus for proposal: Test Proposal.

"This is a test proposal for practice session."



▶▶▶ アドレスポリシーに関する議論

例年並みの100名-150名ほどの参加であった。

(他セッションと比較すると日本人が少ないか?)

JPOPF-STの取り組みについても触れられたり、ディスカッションでのコメントもあった。👏

5件の提案について議論。

prop-148 : 「IPアドレスのリース禁止」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-148/>

prop-152 : 「IPv4アドレスの最大割り振りサイズを/23から/24へ変更」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-152/>

prop-153 : 「Policy Development Processの変更」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-153/>

prop-154 : 「IXP向け割り当てアドレスサイズの変更」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-154/>

prop-155 : 「アソシエイトメンバーへのIPv6割り当て」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-155/>

prop-148: IPアドレスのリース禁止

IPアドレスはリース禁止であることをポリシー文書に明記

ここでのリースとは

2.5 接続を失った場合

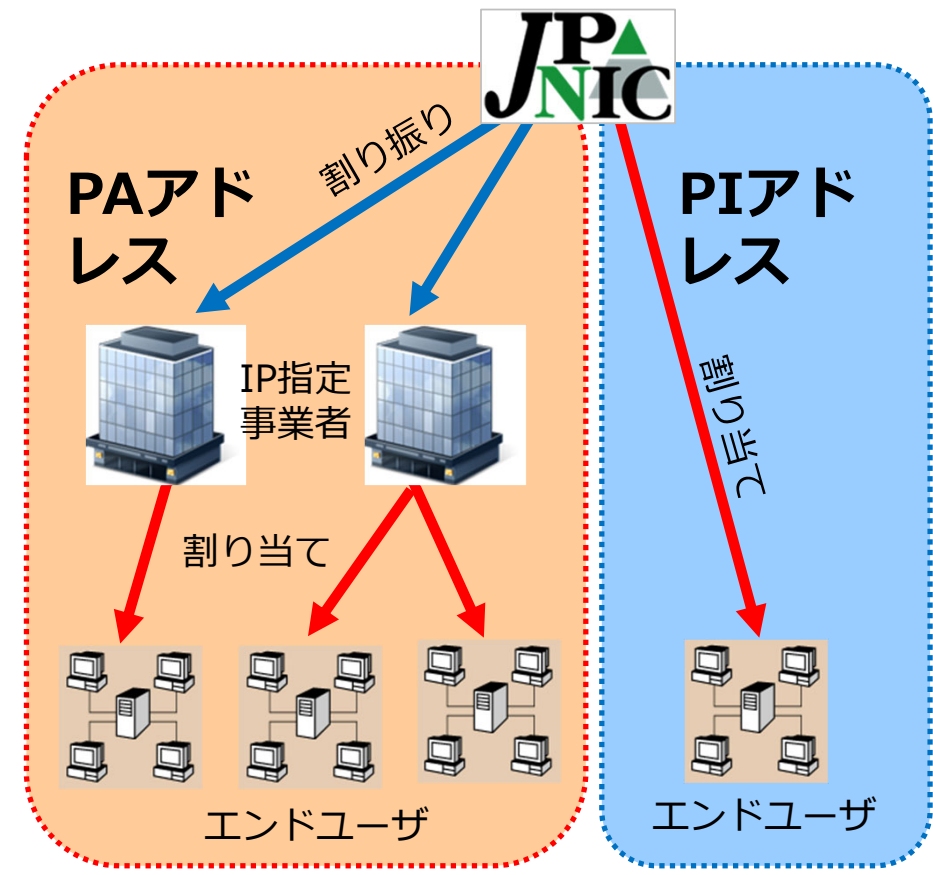
IP指定事業者から割り当てられたアドレスは、当該IP指定事業者との接続を失った場合、そのIP指定事業者に返却しなければなりません。アドレスの返却は、接続を失った日から原則として3ヵ月以内に行ってください。

IP指定事業者は、返却したアドレスを新たな割り当てに使用することができます。

参考文書：「IPv4割り当て報告申請について(ユーザネットワーク用)」
<https://www.nic.ad.jp/doc/ip-addr-assign-user-process.html>

ネットワーク接続性のない組織への 割り当て・利用

※JPOPM43資料から引用



▶▶▶ prop-148: IPアドレスのリース禁止

前回から何が変わったの？

⇒「リース」という直接表現をなくし、

「直接接続性」と表現するように変えた！

⇒提案者自身が「リース」の定義が難しいと主張

会場からの意見

- 結局タイトルに「リース」と残っている。これは非常に混乱を招く。
- 「リース」という言葉をいくら提案から削除しても、この問題の解決において「リース」の定義を定めるところから逃げられないのでは。

⇒コンセンサスには至らず

▶▶▶ prop-152: IPv4アドレスの最大割り振りサイズを/23から/24へ変更

提案内容

1. 現在ある在庫(103/8)が枯渇するまでは、現状通り/23を上限とした分配を継続する。
2. 103/8の枯渇後はすでにIPv4アドレスの分配を受けたものは新規に分配を受けることはできない。
3. 新規メンバーには最大/24の分配をReservedプールから行う。
4. 完全枯渇した際には新規メンバーのためのwaiting listを作成する。

目的

現在のペースでいくと2024年中に完全枯渇が見込まれるため、多くの組織に「IPv6実装のためのIPv4」を分配できるようにしたい。

▶▶▶ prop-152: IPv4アドレスの最大割り振りサイズを/23から/24へ変更

会場の意見・様子

- 本提案の実装によって駆け込みでの申請が発生し、事務局業務に支障をきたす可能性がある。
- /24まで割り振りサイズが小さくなると事業のできることが非常に限られてしまう(CN)

⇒南アジアを中心とした賛成派とその他反対派で拮抗
チェアの判断によりコンセンサスには至らず。

prop-153 : 「Policy Development Processの変更」

提案内容

- Policy Proposalの提出は次回OPMの5週間前までとし、4週間前にはPolicy SIGへ投稿される(提出期限を明確化する)。

目的


- 今現在実行されている慣習の明文化

prop-153 : 「Policy Development Processの変更」

会場からの意見

- 現在4週間のディスカッション期間が設定されているが、実態としてはML投降後1週間ほどで議論は終わっている。これほど長い期間は本当に必要なのか？
- JPOPFのような英語⇒母国語に翻訳して、ディスカッションを行うような組織のためには十分な時間はどれくらいか？

⇒拮抗するもコンセンサスには至らず。



prop-154 : 「IXP向け割り当てアドレスサイズの変更」

提案内容

1. IXP向け割り当てのデフォルトサイズを/26とする。
2. 60AS以上のピアがある場合には/25まで割り当てを受けることができる。
3. 100AS以上のピアを計画または証明できる場合、/24まで割り当てを受けることができる。
4. 保有IPv4アドレスが/24以下のIXPは利用率が60%を越えていることを証明することで/23までの割り当てをリナンバすることで可能とする。
5. 保有IPv4アドレスが/23のIXPは利用率の80%超えを証明することで/22までの割り当てをリナンバ可能とする。

目的

現在のMAX/23、デフォルト/24のIXP向け割り当てでは多くのIXPがIPv4アドレスを持って余している。効率的・効果的分配を目指すために変更を行いたい。

prop-154 : 「IXP向け割り当てアドレスサイズの変更」

会場からの意見

- /23以上の割り当てを受ける際のリナンバリングについて必要な労力とそれに見合う効率性が実現できるか、すでにIPv4完全枯渇が近づく中で必要なのか。

⇒IXP事業者を中心に反対、コンセンサスには至らず。

ココの詳細い内容はこの後の「割り当てサイズの変更ポリシーについて」でお話しします。

prop-155 : 「アソシエイトメンバーへのIPv6割り当て」

提案内容

Associate memberは/48のIPv6 PI割り当てを受けられる資格を持つ。

Assessment for address space

Membership tier	IPv4 prefix	IPv6 prefix
Associate	None	None
Very small	Up to and including /22	Up to and including /35
Small	Greater than /22, up to and including /19	Greater than /35, up to and including /32
Medium	Greater than /19, up to and including /16	Greater than /32, up to and including /29
Large	Greater than /16, up to and including /13	Greater than /29, up to and including /26
Very large	Greater than /13, up to and including /10	Greater than /26, up to and including /23
Extra large	Greater than /10	Greater than /23

<https://www.apnic.net/get-ip/apnic-membership/how-much-does-it-cost/member-structure/>

▶▶▶ prop-155 : 「アソシエイトメンバーへのIPv6割り当て」

目的

Associateメンバーである小規模事業者や学術系団体などにおけるIPv6実装推進。

APNIC52の際にprop-137で同様の提案があったが、再度議論に。

会場の意見

- コメントはなし
- 空気としてはIPv6実装支援につながるのなら良いのではといった感じ。

⇒賛成多数でコンセンサス

▶▶▶ 次回のAPNICミーティング

- **APRICOT2024/APNIC57**

日時：2024年2月21日～3月1日

場所：タイ・バンコク

- **APRICOT2024/APNIC57**

<https://2024.apricot.net/#navigation>

次々回、単独回はニュージーランド・ウェリントン

APRICOT 2025はバングラデシュ・ダッカ

その次のベトナム・ダナンまで決定



参考: APNICミーティングはどこで開催されるの？

<https://blog.nic.ad.jp/2021/5846/>

APNICミーティングWebページ

<https://www.apnic.net/events/conferences/>